

# 兵庫・大阪の連携強化に向けて

兵庫県知事 齋藤 元彦

# I 大阪湾バイエリアのポテンシャル

- 世界三大バイエリアに代表されるように、バイエリアへの投資が加速
- 大阪湾バイエリアには人口・事業所・大学・研究施設等が集積。陸・海・空の交通インフラも充実し、さらなる成長への高いポテンシャルを保有
- このポテンシャルを活かし、両府県の連携と切磋琢磨により関西経済を牽引することが必要

## 世界ではバイエリアへの投資が加速

### 世界三大バイエリア

高度人材が集積し、世界経済の中核として機能



### 世界第4大バイエリアへ

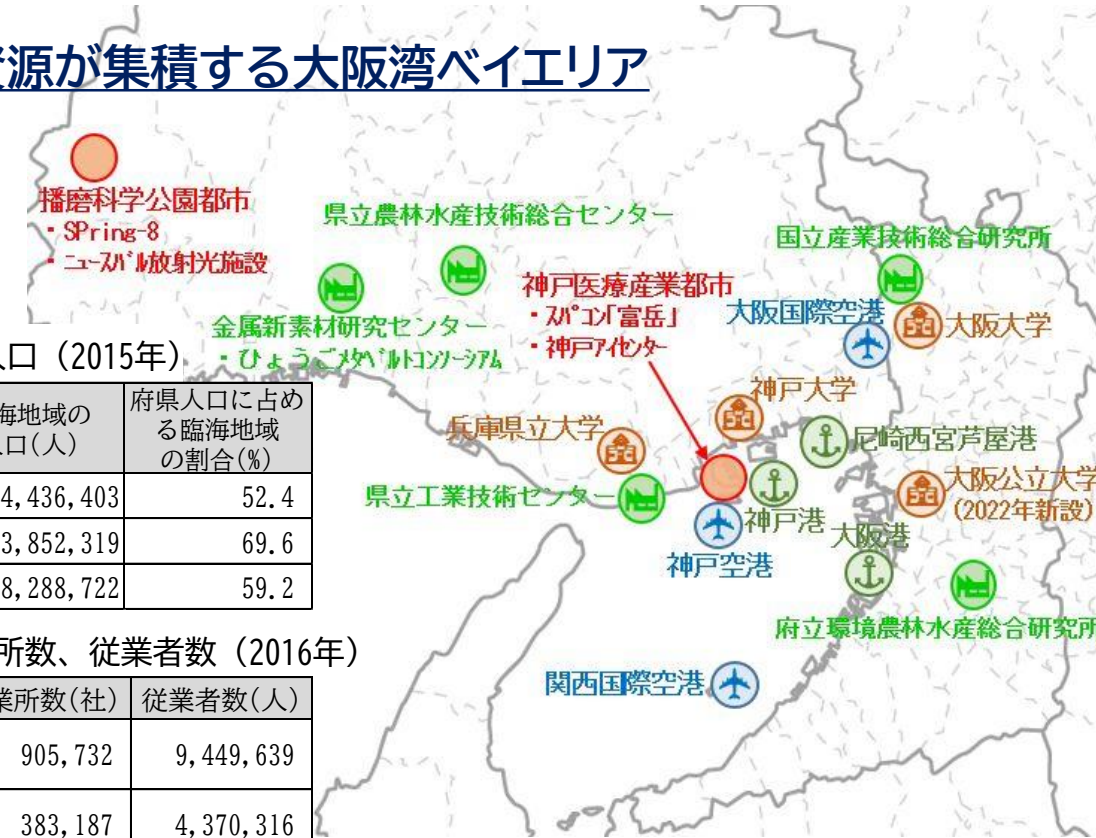
### グレーターバイエリア

(粵港澳大湾区)

香港・マカオ・広東省珠江の9都市を統合し、大湾区を創出する計画



## 資源が集積する大阪湾バイエリア



大阪湾臨海地域の人口 (2015年)

	臨海地域の人口(人)	府県人口に占める臨海地域の割合(%)
大阪府域	4,436,403	52.4
兵庫県域	3,852,319	69.6
大阪府域+兵庫県域	8,288,722	59.2

大阪湾臨海地域の事業所数、従業者数 (2016年)

	事業所数(社)	従業者数(人)
7府県 ① ※	905,732	9,449,639
大阪湾臨海地域 ② (大阪府+兵庫県)	383,187	4,370,316
大阪湾臨海地域シェア (②/①)	42.3%	46.2%

※7府県:滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、奈良県、徳島県

# Ⅱ 2025年大阪・関西万博の意義

- 万博を通じた「経済波及効果」「イノベーションの創出」「地域の魅力発信」に期待
- これらの効果を最大限に引き出すために、両府県の連携した取組が必要

## 経済波及効果

### ◆ 万博が生み出す 経済波及効果は2兆円

- ポストコロナの成長・発展の起爆剤
- 中小企業を含めたビジネスチャンスの拡大
- 道路 港湾 鉄道等のインフラ整備の加速 など



夢洲メイン会場

2025年日本国際博覧会協会提供

## イノベーションの創出

### ◆ イノベーションを生み、 新産業の成長を加速

#### 【国際博覧会での技術トピックス】

1970年 大阪万博

テレビ電話、電気自動車

1975年 沖縄海洋博

アクアポリス(半潜式海上都市)

1985年 つくば科学万博

映像技術(3D等)、LAN

2005年 愛知万博

ICチップ、超伝導リニア



2025年 大阪・関西万博

ライフサイエンス、デジタル  
カーボンニュートラル など

## 地域の魅力発信

### ◆ 2,800万人が来場。 各地の魅力・取組を世界に 発信する絶好の機会

- 歴史・文化・食等の魅力
- SDGs 課題の解決につながる各地の取組

#### 【兵庫のオンリーワンの地域資源】

三木の酒米 播州織

但馬のコウノトリ育む米 など



オンリーワンのものづくり「播州織」



無農薬での栽培が進む  
「コウノトリ育む米」

# 連携分野 (提案)

# 1 海上交通の充実

- 海上交通は、兵庫と大阪を結ぶ周遊観光や海外からの誘客等を拡大する重要な手段
- 国内外から多くの人々が訪れる万博を見据え、海上交通の充実に向けた連携が必要

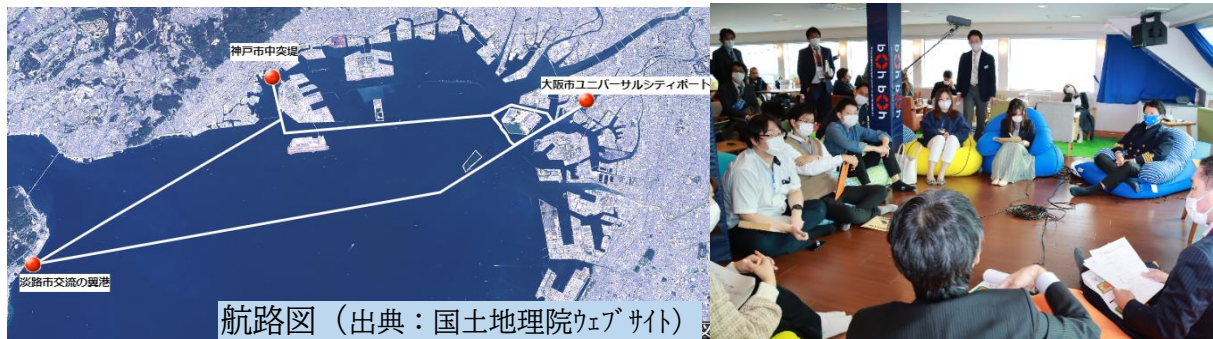


## 実証実験の概要

- ・日程 令和3年11月10日(水)
- ・行程 神戸港中突堤 ～ 大阪市ユニバーサルシティポート
- ・乗船者 企業、有識者、大学生、自治体等 約200人

### [アンケート結果]

- ① 近い将来、バイエリアの海上交通が充実する可能性があるか  
→ 「そう思う、ややそう思う」(82.9%)
- ② 海上交通が発展すれば関西の社会経済にイパ°外を与えるか  
→ 「そう思う、ややそう思う」(81.7%)



## 海上交通の充実に向けた取組



### 魅力ある航路開拓と自立的な運航

- ・実証実験やニーズ調査等により、**魅力ある航路の開拓**や、**事業者の自立的な運航**に向けた取組を推進



### 海上交通ならではの価値を創出

- ・単なる移動手段ではなく、**船上での食・エンタメ・MICE**や、**海からのビューポイントの創出**など、陸上交通では体感できない魅力を創出



### 世界中からの寄港の促進

- ・**大型クルーズ客船の誘致**に加え、**スーパーヨットの受入れ**など、バイエリアの強みを活かしたインバウンド誘客を強化

## 連携例

- 実証実験、企業ニーズ調査、潜在需要の掘り起こし等の推進
- 国への規制緩和要望(イパ°アウト 船旅振興制度の運航可能日数の延長、スーパーヨットに係る手続き 等)

# 2 観光連携の強化

- 兵庫と大阪の異なる魅力を掛け合わせることで、周遊観光のさらなる活性化が期待
- 万博でも、先端性(大阪)と地域の持続可能性(兵庫)の体感機会を通じて、多様で奥深い価値を提供

## A この先数年は誘客拡大の好機

- ・JRのデスティネーションキャンペーン、万博、WMGと、誘客イベントが連続
- ・DCでは「兵庫テロワール旅」として、兵庫五国の魅力をPR



### 観光資源の相乗効果

#### 大阪

- ・上方文化
- ・食い倒れのまち、粉もん
- ・大阪城、通天閣、USJ
- ・百舌鳥・古市古墳群 等

×

#### 兵庫

- ・神戸ビーフ、松葉がに
- ・港町、山陰海岸、渦潮
- ・姫路城、甲子園球場
- ・有馬・城崎温泉 等

### 万博での発信価値の相乗効果

#### 大阪

- 世界が驚く未来社会の提示
- ・スマートシティ
- ・都市の魅力
- ・ライフサイエンス (遺伝子分析、再生医療)

×

#### 兵庫

- 地域の持続可能性の提示
- ・健康と食(安全安心)
- ・多彩な地場産業
- ・持続する農林水産業
- ・大震災からの復興

## A 兵庫五国の「フィールドパビリオン」の展開

- ・万博会場の広域連合パビリオンの「兵庫棟」をゲートウェイに、県土そのものをパビリオンに見立てたフィールドパビリオンを展開
- ・「人類の共通課題の解決の場」のモデルとして、「多彩な地場産業」「持続する農林水産業」など、県内各地の取組現場での体験や学びの機会を提供

### 連携例

- 周遊観光ルートの開発、共同プロモーション等の実施
- 万博の共同啓発イベントなど、機運醸成に向けた取組の推進

# 3 スタートアップの創出・成長支援

- 兵庫県では国連機関UNOPSとの連携など、スタートアップの創出・育成を強化
- 世界に伍するスタートアップ拠点の形成に向け、両府県の強みを活かした連携が必要

## 県内支援拠点を通じたスタートアップの育成

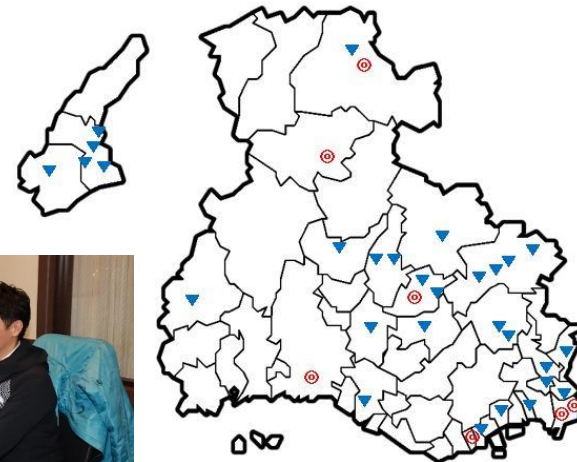
- ・起業プラザひょうご(神戸、尼崎、姫路)を核に支援を展開
- ・国連機関UNOPSと連携し、SDGs課題の解決を目指すスタートアップの事業構築・海外展開を支援



## 都市部から多自然地域まで全域に関連施設を展開

- ・スタートアップ応援のため、県内全域に44の関連施設を展開  
(県・市町の支援施設、公的なコワーキング施設等)

【神戸市中央区】



●: 県・市町等の設置施設(9)  
▲: 県・市町の支援施設(35)



## スタートアップアカデミーの開設 (R4予定)

- ・地域や社会課題の把握・解決力を養うため、中高生を対象にアントレプレナーシップ教育を実施予定

- 連携例**
- 施設の相互利用(スタートアップ支援拠点の相互利用、多自然地域でのワーケーション推進 など)
  - 共同ピッチイベントの定期開催、アクセラレーションプログラムの相互利用
  - アントレプレナーシップ教育の連携

# 4 成長産業の育成

- 兵庫・大阪には、ライフサイエンス、環境・エネルギー、ロボットなど成長産業のシーズが集積
- イノベーションを誘発する万博を契機として、成長産業の育成支援に連携して取り組むことが必要

神戸医療産業都市を核に、研究開発拠点や医療関連産業が集積



先端医療



水素エネルギー

神戸港では、豪州からの液化水素の運搬や水素発電の実証実験等が進展。今後、姫路港でもカーボンニュートラルポートの取組を展開

半導体

ニュースバル(中型放射光施設)は、次世代半導体の研究開発の世界的拠点



蓄電池



ニュースバルでは革新型蓄電池の研究開発を推進。大阪・兵庫には蓄電池生産工場が集積

リチウムイオン蓄電池の出荷額

都道府県	出荷額	
	金額(億円)	シェア(%)
1位 大阪府	1,157	21.9
2位 兵庫県	861	16.3

## 連携例

- 国内外から投資、企業、人材を呼び込むトップセールスの実施
- 中小企業の人材育成の連携、試験研究機関の相互利用等の推進



兵庫・大阪が連携し

躍動する関西へ